

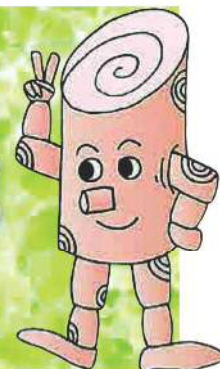


出雲地区森林組合広報 JForest

「緑のこだま・いずも」

No.46
令和4(2022)
3/10

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp
ホームページアドレス: <http://www.izurin.jp/>



ドローンによる資材運搬を実施しました

大社町修理免地内において、出雲県土整備事務所より受注した植栽を伴う治山事業の森林整備工事で、シカ侵入防止柵の資材や堆肥をドローンで運搬しました。

人力で山の上まで資材を運ぶことを考えると、格段に効率が良くなり体への負担も減ります。

林業の分野でもこういった新技術を活用して、作業の効率化を図り、安全安心で魅力のある産業にしていければと思います。

目次

CONTENTS

ドローンによる資材運搬を実施しました	1
組合員の皆様へ	2
林業・木材産業の活性化に関する要望	3
令和4年安全テーマ「安全は心の余裕と準備から」	3
集落周辺里山整備事業のご紹介	4
県民参加の森づくり事業 植樹祭	4
みんなでつくる出雲の森事業チェーンソー研修	5
「循環型林業推進全国大会」が開催されました	5
令和3年度JForest全国森林組合代表者大会 表彰者受賞者	6
ウェイトリフティング競技中国ブロック大会に 出場しました!!	6
SDGs達成に向けた森林組合の貢献	6
組合員の皆様へお願い!!	6

組合員の皆様へ

代表理事組合長 高砂明弘

木々の緑も日ごとに色めく季節になりました。

皆様には、ご清栄のことと存じ上げます。

平素は、出雲地区森林組合の事業運営につきましまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは未だに猛威を振るい、鳥根県も年初から「まん延防止等重点措置」が適用され、私たちの生活や経済は依然として予断を許さない状況にあります。一刻も早い収束を願うばかりです。

昨年七月には記録的な自然災害により山林にも大きな被害が発生しました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

また十二月には「循環型林業推進全国大会」が出雲市のラピタウエディングパレスにおいて開

催され、行政、県内外の林業関係諸団体が参加されました。この大会の中で、循環型林業の推進に取り組み実践していくことを再認識し、出雲の山々でも引き続き取り組んでいきたいと思っています。

現在、木材の需要の増加、諸コストの高騰により「ウッドショック」と言われる輸入木材の価格高騰が発生し、そのため国内産ヒノキなどの木材も以前よりも価格が上がっている状況が続いております。

出雲地区森林組合は森林組合系統運動方針「JForest森林組合ビジョン2030」地域森林の適切な利用保全と林業経営のさらなる発展に向けて、のスローガンのもと鳥根県、出雲市と連携し事業を進めてまいります。

近年SDGs（持続可能な開発目標）への関心が高まり森林・林業・木材の利用などに注目が集まっています。森林は私たちの大切な資源であり、財産です。地球温暖化を抑止するためにも森林づくりは不可欠です。厳しい林業環境において、森林を守り育て、豊かになる努力をいたします。

組合員の皆様の一人一人の声を聞き、林業の発展に努めてまいります。



出雲地区森林組合は「安全は心の余裕と準備から」の安全テーマのもと、役職員一同今まで以上に仕事に邁進いたしますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

本年が組合員の皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。

林業・木材産業の活性化に関する要望

出雲市において『21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド』により、森林の整備や有害鳥獣被害対策事業・市産木材の利用促進の実施と推進をこの補助事業で取組んでいます。これからも森林・林業・木材産業が継続可能な開発目標（SDGs）に貢献し地域経済や雇用を支え、豊かな環境づくりの施策を令和3年12月1日、出雲市長 飯塚俊之様に陳情しました。

①川上対策に関する要望として、原木生産の低コスト化のための基盤づくり及び促進と、再生林の低コスト化、林業就業者の確保についての支援のために

- 1.既設森林作業道等の維持、修繕の支援 2.林地境界の明確化の促進 3.市有林の主伐と再生林の推進
- 4.高性能林業機械導入や更新に対する助成 5.島根県立農林大学校林業科修学のための支援

②川下対策に関する要望として、森林所有者の森林経営意欲を高めるために最も高い価格で取引される製材用原木の需要を拡大するために

- 1.製材工場、プレカット工場、木材市場の施設整備、改修、更新に対する助成
- 2.製材用原木の需要拡大につながる製材品販路の開拓支援
- 3.出雲市産木材を使用した建築物（一般住宅、店舗等）への支援の拡充
- 4.公共建築物での出雲市産木材の利用拡大と推進。それに伴う情報提供

以上の項目について、島根県木材協会出雲支部支部長 三吉庸善様及び出雲製材協同組合理事長 狩野秀嗣様、当組合組合長 高砂明弘の3名により関係事業体の3団体により要望しました。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 令和4年安全テーマ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 「安全は 心の余裕と 準備から」

今年の安全テーマは、チップ生産工場の嘉本良枝さんの作成された『安全は心の余裕と 準備から』に決まりました。

1月4日この安全テーマを朝礼の参加者で唱和し、改めて安全意識の向上に努めることを確認しました。

また、同日、大社町の阿須伎神社にて令和4年の安全祈願祭を実施し、コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小し、組合長以下代表者8名の参加者となりました。今年も従業員全員で無事故、無災害を目指していきます。



集落周辺里山整備事業のご紹介

令和2年度より出雲市乙立町地内の山林に於いて集落周辺里山整備事業の交付金を活用した山林の整備を行っております。5名の所有者からなる山林を集約し、前年度は竹林伐採を0.53haと危険木の伐採作業を行いました。竹林伐採に於いては、年々繁茂する竹林を整備するため、孟宗竹林を全部伐採し、横積みにして筋状に整理しました。

春には、地元住民にて竹の子の採取をしていただき、約300kgの竹の子の収穫を行なわれ、その結果竹林繁茂の抑制にも役立っています。

今年度は作業道の開設、不要木の伐採(間伐)を実施中です。令和4年度には竹林伐採跡地にヒノキ苗の植栽と、松くい虫被害跡地には抵抗性アカマツの植栽を行う計画です。

植栽後の下刈作業も地元所有者の管理で行う予定としており、地域住民の交流活動や、里山の整備に役立っています。



竹林伐採前



竹林伐採後

県民参加の森づくり事業 植樹祭

令和3年11月7日(日)に株式会社多伎振興主催による植樹祭が開催されました。

県民参加の森づくり事業の「森を保全・利用する取組」の交付金を活用した植栽活動で、多伎地域自治協会連合会を主体とする各種団体から90名ほど参加されました。

道の駅キララ多伎からキララコテージのくにびき海岸道路沿い、約300mの間にヤマザクラの苗木150本を植栽されました。又、植栽した苗木すべてを潮風から護るための保護筒(ヘキサチューブ高さ1.8m)の設置も行いました。

当日は天候にも恵まれて順調に作業が進み、1時間程度で植栽が完了!

子供の参加者には苗が活着するようにやさしく植えてもらう指導を行い、大人の方には保護筒の役割を説明した後、取付方法についての指導を行い設置しました。

今後は、植えたサクラの苗木まわりの下刈等を行い、大きくなって開花するまでを見守って行きたいと思っています。





**みんなでつくる
出雲の森事業**

チェーンソー研修



令和3年11月20日(土)に、出雲市森林政策課が「みんなでつくる出雲の森事業」チェーンソー安全技術研修会を開催され、当組合もお手伝いをさせていただきました。

出雲市では、市民の皆様に森林への関心と保全意識を高めていただき、緑豊かな森づくりを目指すことを目的に、市民参加によって森から間伐材などを運びだすための事業を平成25年度から始められています。

この研修会では、チェーンソーを安全に使っていただくために、組合の現場班長を指導員として技術指導を行いました。始めに、ソーチェンの目立てを行い、午後からは市有林へ移動してチェーンソーの持ち方、使い方を説明した後、実際に原木の輪切り等をしていただきました。初めてチェーンソーを使う方もいらっしゃいましたが、注意点をきちんと守られ安全に研修会を終えることが出来ました。

この研修を機に安全な作業を心掛けていただければと思います。



「循環型林業推進全国大会」が 開催されました



令和3年11月6日(土)にラピタウエディングパレスで190名(県内150名、県外40名)の参加者により開催され、当組合からも6名出席しました。

最初に島根県森林組合連合会 代表理事長 糸原 徳康 様の主催者挨拶があり次に林野庁長官 天羽 隆 様より来賓祝辞がありました。続いて国立大学法人鹿児島大学教授 寺岡 行雄 様より「伐採と再生林を進めて元気な循環型林業をつくる」の基調講演等があり、循環型林業の推進に取り組む機運を全国に向けて発信された大会となりました。

この大会をとおして林業の魅力発信等の実施、原木生産・再生林の推進を改めて認識し、今後の組合事業の重要性を確認しました。



令和3年度 JForest 全国森林組合代表者大会 表彰者受賞者

森林組合に永年にわたり在職され組織の発展に功労いただいた小村繁延様が受賞されました。



第76回国民体育大会 ウェイトリフティング競技 中国ブロック大会に 出場しました!!

令和3年8月21～22日に岡山県倉敷市で開催されました中国ブロック大会のウェイトリフティング競技に当組合の曾田 孝さんが出場されました。結果は、スナッチ種目95kg、ジャーク種目115kgのトータル210kgで2位の好成績を収めました。



SDGs 達成に向けた森林組合の貢献

SDGs(Sustainable Development Goals/ 持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれた17の目標で、貧困・飢餓・気候変動など人類・地球全体が直面する課題を解決し、持続可能な世界を実現するために、2030年までの達成を目指して世界各国で取組が進められています。

森林組合系統が取り組む活動は、SDGsに直接的に結びつくものが多く、今後、SDGsの達成において森林組合系統が果たす役割に大きな期待が寄せられています。



図1: SDGs 17の目標を表したイラスト



図2: 協同組合によるSDGs推進ロゴマーク
(日本協同組合連携機構作成)

組合員の皆様へお願い!!

組合員様の死亡等により相続が発生、または出資持分の変更、住所変更が発生した時は届出が必要となりますので、総務課までお問い合わせください。

お問い合わせ先 ☎0853-22-4433